

第11回

平和を祈る音楽会

浦上天主堂

長崎県長崎市本尾町1-79

2024年 **8**月**4**日(日) 13:30~15:30

参加費: 音楽会受付にて、チャリティーをお願いします。このチャリティーは、日々、平和のために活動している「長崎大学核兵器廃絶研究センター」へ、全額寄付させていただきます。



テノール: 米澤 傑



オーボエ: 堤 寛

愛知県より

オーボエ: 堤 寛(病理医) & オルガン: 堤 佐代子
バッハ: アダージオ、バッハ: G線上のアリア、グノー; アヴェマリア、

大村市より

チェロアンサンブル
ロンドンデリーの唄、他

長崎市の方々

朗読劇「
作・演出: 津田けいこ」劇団TABIHAKU
ピアノ: 坂上泰子

鹿児島県より

テノール: 米澤 傑(病理医) ピアノ伴奏: 今岡淑子 賛助出演: ソプラノ: 米澤悦子
プッチーニ: 誰も寝てはならぬ、星も光ぬ、アヴェマリア、他

共催: 平和を祈る音楽会実行委員会、公益財団法人 長崎平和推進協会 音楽部会

お問合せ: 08066419802(Yutaka) 09093380638(Sayoko)

Email: peer345@outlook.jp (Sayoko Tsutsumi)

下記の方々より「平和を祈る音楽会」の運営のための協賛寄付をいただきました。

NPO法人イエローエンジェル (名古屋市)、棚橋恭子 (名古屋市)

核戦争に反対する医師の会・愛知 (名古屋市)、東海罐詰株式会社(愛知県愛西市)

私たちは、平和を願い、平和を祈り、音楽を演奏します。浦上天主堂で音楽を演奏できることは平和そのものだと思います。初回開催は2014年8月でした。その後毎年開催してきました。コロナ渦でも中止することなく開催できたことは奇跡です。ふりかえれば、実に多くの方々に応援していただきました。2023年8月には、10周年記念「平和を祈る音楽会」を終えることができました。2024年8月4日、第11回「平和を祈る音楽会」を開催いたします。どうぞ、みなさま、ご来場ください。

■オーボエ:堤 寛 YUTAKA TSUTSUMI ■

1951年横浜市生まれ。1976年慶應義塾大学医学部卒。1980年同大学院修了。医学博士・病理専門医・細胞診専門医・感染症学会推薦ICD制度協議会ICD(インфекションコントロールドクター。東海大学医学部に21年在籍ののち2001年6月より2017年3月まで、藤田保健衛生大学(現在は藤田医科大学)医学部病理学教授。2009年よりNPO法人ぴあサポートわかば会監事。オーボエは40歳から習い始めた。2014年に「平和を祈る音楽会実行委員会」を立ち上げ、以後毎年浦上天主堂(長崎)にて「平和を祈る音楽会」を開催している。現在、稲沢市在住。SAYOKOとのDUOは、2003年から始め、ひとの輪、平和の和を広げようと、「輪の和」コンサート、トーク&ライブなど、各地で開催してきた。今回、「輪の和activity」は73回目となる。100回開催を目指している。現在、稲沢市にて、つつみ病理診断科クリニックを開業。2021年4月より四日市看護医療大学臨床検査学科特任教授を務めている。

■チェロアンサンブル・ピアチューレ■

チェロアンサンブル・ピアチューレ 大村市で開催されていたチェロ講座の受講生が、2010年“ピューピルズコンサート”(大村市振興公社主催)への参加をきっかけにチェロアンサンブルを結成。コロナ禍を乗り越え、より一層の活動を継続中。~今回、このコンサートに参加できることを、メンバー一同大変嬉しく思っています。私達はチェロの温かい音色に惹かれ、大人になって手ほどきを受け始めた初心者の集まりです。これからも日々研鑽を重ね、音楽を通して多くの人との輪・平和の和が広がることを願っています。そして音楽のある生活を楽しんでいきたいと思ひます

■劇団 TABIHAKU(代表:つだ けいこ)■

‘90長崎“旅”博覧会に県内公募で結成された”劇団 TABIHAKU”は、以来、各種イベントに参加。ミュージカル・ストレイトプレイ・リーディング・ダンスショー、年間10ステージを制作しています。殊に平和の事業を大切に作品づくりにも励んでいます。

■テノール:米澤 傑 Suguru YONEZAWA ■

鹿児島大学医学部名誉教授。医学博士。医療法人・玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル・トータルウェルネスセンター・センター長。鹿児島市医師会病院病理部・顧問。

日本病理学賞。鹿児島県芸術文化奨励賞。各種がんマーカー等の論文の著者世界ランキング第6位(日本人第1位)。松本美和子氏に師事。日本クラシック音楽コンクール第1位・グランプリ。太陽コンコルソ・カンツォーネ・イタリアーナ優勝。蝶々夫人やカルメンの主演、第九、メサイア、ヴェルディ・レクイエム、ロッシーニ・スタバトマーテル等のソリスト、G. ジャコモニニら世界的名テノールとのジョイントリサイタル、オペラ「トゥーランドット」のカラフ王子役(イタリアと日本)、皇后陛下(現・上皇后)ご臨席のサントリーホールでのモーツァルト・レクイエムのソリストで大絶賛を博す。NHKの「第九をうたおう」、FM名曲リサイタル、芸術劇場、ラジオ深夜便に出演。CD「誰も寝てはならぬ/米澤 傑 テノール・オペリアア集」は、ヒットチャートで度々第1位(検索:楽天市場 米澤傑)。

■ピアノ:今岡 淑子 Yoshiko IMAOKA ■

相愛大学卒業、同大学ピアノ研究生修了。ソロのみならず、伴奏者としての信頼も厚く、多数の演奏会やNHK-FMIに出演する他、CD録音に参加する等、幅広く活躍している。音楽現代新人賞、宝塚ベガ音楽コンクール第3位、京都芸術祭優秀伴奏者賞受賞。また、指導者としてピティナ「特別指導者賞」、日本クラシック音楽コンクール「優秀指導者賞」、ベートン音楽コンクール「優秀指導者賞」等の受賞も多く、演奏・指導の両方で高い評価を得ている。現在、武庫川女子大学音楽学部教授。兵庫県立西宮高校音楽科講師。

♥ はじまり ♥ 故・土山秀夫先生(元長崎大学学長)は病理医で、堤寛とは面識がありました。私たちは長崎大学医学部の学生が被爆して大勢亡くなった史実を悲しみ、土山先生の核兵器廃絶への思いに共感しました。土山先生は「音楽ができることは平和そのものですよ」といわれました。この音楽会は土山先生との出会いから始まったのでした。2013年に被爆体験の語りしてくださいました。長崎大学核兵器廃絶研究センターを視察させていただきました。

♥ 恩師による教えに感謝。ありのままがいい、困難は勇気をもって自分で歩きなさい、数々の教えに感謝!! ♥ 土山先生の言葉をヒントにはじめの一步を後押しくださったのは大橋先生(南山学園元理事、長崎南山高校元校長、南山短期大学元学長)でした。大橋先生が浦上教会に繋いでくださったのです。初回が終わり2回目をやらねばと思ったとき「浦上教会久志主任司祭様に“よろしくね”と話しておきましたのであとはあなたの足で歩きなさい」といわれました。そして、2回目終了後「10回頑張ります！」と宣言してしまいました。「継続は力なりだからね。僕よりも長崎に詳しくなって有名になったんじゃない?」とユーモアたっぷりに言われました。大橋先生は南山短期大学では「南短のお父さん」と慕われ、私は同窓会役員として交流がありました。同窓会誌で卒業生向けに、「自分の足であるきなさい」「困難を乗り越える勇気をもちなさい」など、発信されていました。今思うと、それは、卒業生への大きな愛そのもので、私たちひとりひとりへのエールであったように思います。南短のおとうさん、本当にありがとうございました。

(平和を祈る音楽会実行委員:堤佐代子)